

「伝えることば」と「伝わることば」

日：2023年3月21日（火）

時間：13時～17時

場所：専修大学神田10号館 黒門ホール

異文化コミュニケーション学科にとって最も重要なテーマである「コミュニケーション」を支える「ことば」——本シンポジウムでは、この「ことば」を駆使しながらそれぞれの分野の第一線で活躍されている方々にご登壇いただき、何を「伝える」のか、何が「伝わる」のか、というテーマでお話しいたします。

登壇者：

中島 京子（作家）『小さいうち』（直木賞受賞作品）『夢見る帝国図書館』など
堀 茂樹（フランス文学者）2022年度ノーベル文学賞作家アニー・エルノーの翻訳者
望月 衣塑子（東京新聞記者）
横田 増生（ルポライター）『ユニクロ帝国 光と影』『トランプ信者潜入一年』など
寺田 俊治（「日刊ゲンダイ」社長・主幹）

第一セッション：「伝わることば」～ことばを生み出す力：創作・翻訳を通して

13時～13時半 中島京子—ずるい言葉・伝えない意志

13時半～14時 堀茂樹—現実と言葉、人間と言葉—母語と外国語の間で考える—

14時～14時半 対談（進行 根岸徹郎）

（休憩 30分）

第二セッション：「伝えることば」～事実を聞き出すことば・事実を伝えることば

15時～15時半 望月衣塑子—安保三文書、入管問題、伝え、取材するには、人々の怒りと声が必要

15時半～16時 横田増生—伝える手段としての潜入取材。私が、アマゾン、ヤマト運輸、ユニクロに潜入取材した理由

16時～16時半 寺田俊治—過激な評論と時代性

16時半～17時 鼎談（進行 根岸徹郎）

